

令和5年12月子どもの姿

“矢田南レンジャー”と“矢田南工房”

12月9日（土）とても温かくお天気に恵まれた中、矢田南工房を開きました。

矢田南レンジャーたちが力を貸してくれました。

会長さんが用意して下さった竹を割いたものを丸めて、輪投げのわっかを作り、そのあと、土台も作りました。園児のおじいさんが立てた棒が取れにくいように木で作ったビスを穴を開けて入れ込んでくださいました。



工房をされている園児のおじいさん。たくさんご協力いただきました。

ドングリに穴を開けて、ドングリごまや園児のおじいさんに教えてもらってドングリのやじろべえも作りました。



年少りす組は、遊びの森に移動。矢田南幼稚園産の遊びの森の木や木の実もたくさん使って、木工クラフトに挑戦。



みんなそれぞれに思い
思いの材料を取って来
て、ボンドで飾ってい
きました。個性あふれる
素敵なアート作品がた
くさん出来上がりました。



一方、ホールでは、年中たんぽぽ組は初めてののくぎ打ちに挑戦。



木の板に半分くらいくぎを打っ
ていきます。みんななかなかの腕前でした。
それが出来上がると打ったくぎに、
好きな毛糸をひっかけてデザインして
いきました。



年長すみれ組は、たくさんの材料の中から
好きなものを選び、イメージを膨らませて
好きなものを作りました。

長〜い木を選んで「これ、船作れそう」
模様の形にくりぬいている木を選び、

「これでお家作りたい」、丸いスライスした木をたくさん
持って来て「階段作りたい」など、考えていました。

遊びの森の木（矢田南幼稚園産の木）も
たくさん使いました。



矢田南レンジャーに打ちやすいように持ってもらったり、曲がった釘を抜いてもらったり。でも、さすが年長。みんな自分の力をいっぱい出しながら作っていました。

出来上がった作品は創造性に富んでいて、見ていて楽しくなる作品ばかりでした。



出来上がった作品は遊びの森に並べ、お迎えの時、みなさんに見ていただきました。



見ていただいた後は、お楽しみのスティックさつまいもの時間です。

年中たんぽぽ組と年長すみれ組が、お芋ほりの後収穫したさつまいもをどうするか、話し合い、1学期、カレーとポテトパーティーをした時のポテトのように、「“スティックさつまいも”にして欲しい」と言いに来てくれました。そのスティックサツマイモが叶ったのです。朝から技能員さんはじめ、4人がかりでみんなの分を一生懸命作ってくれました。子どもたちは大喜び。





おかわりください!!

お迎えの保護者と共にみんなで遊びの森に大集合して、
少しずつでしたが、おいしいスティックさつまいも
パーティーの時間を楽しみました。

おかわりもたくさん子どもたちが取りにきてくれ
ました。

みんなで、遊びの森で食べるスティックさつまいもは、
格別でした。

子どもたちや保護者のみなさんの笑顔に、うれしい
気持ちになりました。

すてきな遊びの森の時間となりました。



どれにしようかな?



きらきらえがおの コンサート！

みんなの遊びや生活がたくさんつまった音楽会！！子どもも大人も楽しみました！

年少りす組は、遊びの森で見つかり遊んだりしたチョウのペープサートやバッタさん、水遊びどんぐりなど元気いっぱい体や歌で表現しました。初めての音楽会、精一杯の姿はとても素敵でした。



年中たんぽぽ組は、『タンポポ団に入ろう』から始まり、友達と一緒に楽しんできたことを感じられるような発表となりました。『おばけなんてないさ』では、おばけも登場しました！



年長すみれ組は、たくさん育てたテントウムシや、アオムシを題材にした『はらぺこあおむし』運動会にした忍者の鳴子の曲『LEGEND』など、を歌いました。和太鼓にも挑戦しました。

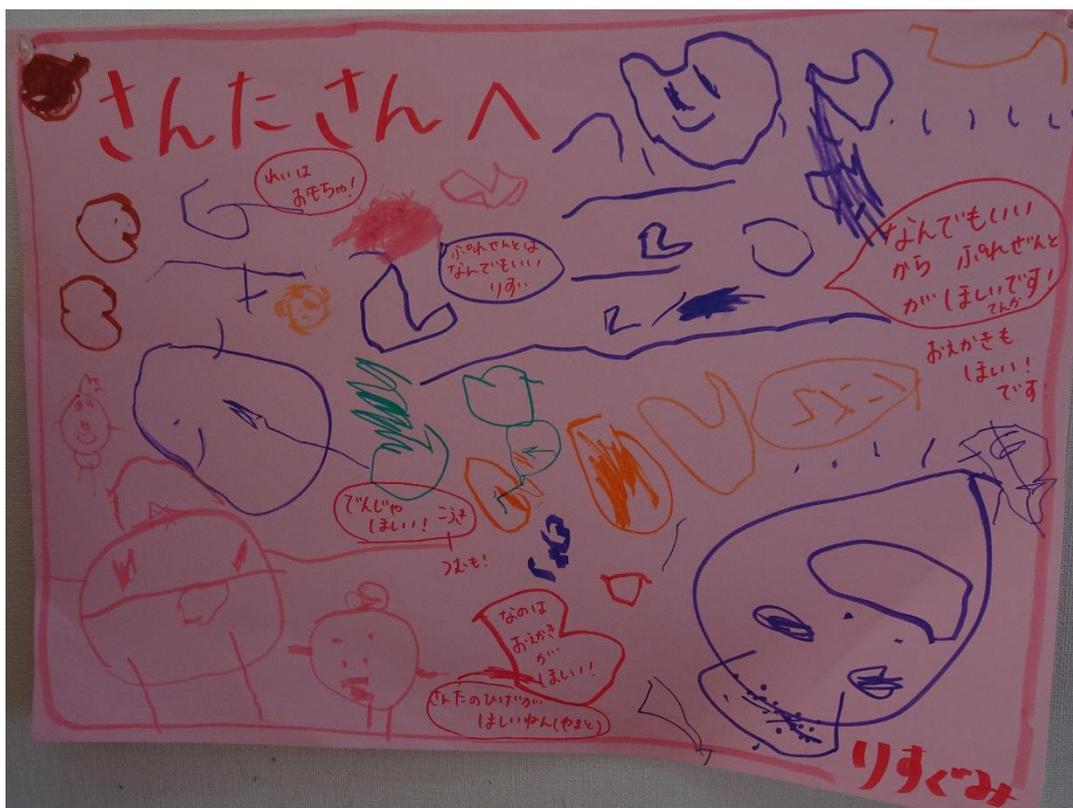


幼稚園にサンタクロースが現れた！

12月になり、サンタやトナカイの衣装を作って身にまとい、サンタやトナカイになって遊ぶことを楽しんでたすみれ組の子どもたち。年少りす組にプレゼントを渡してあげたくて「何が欲しいか、お手紙書いてね」と言っていました。

すると、大きい画用紙1枚ちょうだい」「ピンクのちょうだい」と先生に言うりす組さん。数人の子どもたちが1枚の画用紙に書き始めると、集まっていない子にも「みんなで書こう！」と声をかけ誘い合いながら、みんなでお手紙を書きました。

「名前書いとかなな」「なんでもいいから、プレゼントが欲しいです。お絵描きも欲しいです」というので、担任が添え書きすると、他の子も口々に「電車欲しい」「お絵描きが欲しい」「サンタのひげが欲しい」など、口々に言いながら先生に書いてもらいました。



できた手紙を持ってわくわくしながら、すみれ組に届けに行きました。

「待ってます」と楽しみにするりす組さん。すみれ組は、期待に応えようとプレゼントを作ります。いつでも見れるように壁にはっておきました。

りす組の期待に応えようと一生懸命作るすみれ組。車のタイヤを動くようにしようと頑張ります。シャベルが動くようにしようと四苦八苦したり、塗り絵の絵を何にしようか考えたりしていました。

そして、3日かかりでプレゼントを仕上げました。大変な力作のプレゼントでした。



ラッピングも難しいようで大奮闘。作った車に合う箱を探し、包装紙で包むのも随分苦勞しました。やっとできた時は、本当に嬉しそうでした。



プレゼント作りの間、そりを作っていた子もいました。



完成すると、みんなで出発!!

先生に「りす組さんに寝るように言ってきて」と頼み、先生が廊下にいたりす組に伝えると、その場でぱったりと寝始めたりす組さん。

そこへ、すみれサンタやすみれトナカイがやって来て、ものすごく頑張って作ったプレゼントをそっと置いて行ってくれました。



プレゼントを置くと一目散に帰っていくすみれサンタたち。
ところが、起きたりす組の様子が気になって戻ってきました。



りす組の喜んだ顔を見ると、
とても大満足のすみれ組。
りす組も大作のプレゼントをもらって大満足。
どちらのクラス也大満足でした。



もらったプレゼントをととても大切にしているりす組の子どもたち。
きっと、すみれ組が一生懸命作ってくれたということが、
伝わったのだと思います。

もらった車を引っ張ったり
走らせたりして遊ぶりす組。



そして、今度は、たんぽぽ組にも、自分たちでプレゼントを考えて届けてあげることにしたすみれ組。
先生と一緒に相談をしました。「サンタのひげ入れてあげよう」「サンタの服も作って入れてあげよう」
「それならトナカイのなりきりグッズも作ってあげよう」とアイデアがわいてきました。
それらを作ると、たんぽぽ組に届けに行くすみれサンタたち。
たんぽぽ組に寝てもらい、プレゼントを置いていきました。



数日後、プレゼントをもらったたんぽぽ組は、もらったサンタグッズやトナカイグッズを身に付け、新たに作ったとんがり帽子をかぶり、たくさんのプレゼントを作って、すみれ組に現れました。たんぽぽサンタたちです。すみれ組に寝てもらおうと、プレゼントを配り始めます。すみれ組も大喜び。



幼稚園みんなに広がったサンタごっこの遊びは、みんながサンタのいる夢の世界に思いを膨らませ、たくさんの友達と関わり合う楽しい遊びとなりました。どの学年もみんな満足いっぱいの遊びでした。

本当のサンタさんが来てくれた！

サンタごっこを楽しんでいたすみれ組の子どもたちは、みんなで集うお楽しみ会を考えてくれました。今年のすみれ組が、お楽しみ会を開いてくれていたことを覚えていたようです。



みんなが楽しめるゲームを考えてくれました。

“場所取りゲーム”。そして“これは何でしょうゲーム”は、黒い穴をめくっていき、何がかくれているか当てます。

そして、ジェスチャーゲーム。何をしているところか、おわかりでしょうか？皆様も一緒にお考えください。答えは、最後に掲載しますので見てくださいね！



みんなで楽しくすごしていると、、、
サンタさんが来てくれたのです!!



プレゼントをもらい、「ありがとう」もちゃんと言いました。



サンタさんを見つめる子どもたちの目はキラキラ輝いていました。不思議そうに見ている子もいました。

外に出ると、氷を発見。そりの後も見つけて「きっとサンタさんのそりが止めてあったんだ」「ここからサンタさん、そりに乗ってお空に飛んで行ったんだ」と思いを膨らましていました。

そして、園庭の端まで走って行き、「サンタさーん。ありがとう!」と大きな声で叫んでいました。





みんなでサンタさんのもう一つのプレゼント。クッキーもいただきました。



防災訓練、消防車出動！



「おおーっ！消防車来た！」そして避難訓練が始まりました。毎月 1 回行っているため、子どもたちは、落ち着いてしっかりと避難することができます。消防士さんから『おはしもち』（押さない、走らない、しゃべらない、戻らない、近づかない）のお話を聞きました。消火訓練の見学の後には、お楽しみの消防車見学。みんなたくさん質問をし、教えてもらっていました。



英語であそぼう

新しい先生が来てくれました。英語で自己紹介！頑張りました。

英語の絵本を読んでもらったり、身体を動かしたりしながら、新しい先生と一緒に英語を楽しみました。



書道体験

今年も地域の書道の先生に来ていただき、書道体験をしました。今年は全学年体験しました。

年少りす組は、墨を擦る体験をし、擦った墨で自由に書きました。

墨の濃さがそれぞれ違って、一人一人それぞれにいい味を出していました。楽しくてあっという間の時間でした。



年中たんぽぽ組は、まず、道具を大切に使う、ということをお教わっていただき、筆についての説明を聞きました。今では、なかなか手に入らない、稀少な馬や羊、イタチの毛などで作られた筆を実際に手に取って触らせていただきました。子どもたちは、それぞれの筆の感触を確かめるように触っていました。

文字を書くことにも挑戦!2024年の干支は辰。お手本を見ながら「たつ」と書くことができました。まだ文字を書くことに親しんでいない年中児の作品を見ると、一人一人いろんな「たつ」があって、とてもおもしろかったです。



年長すみれ組は、年少・年中のお教わったことに加え、先生がいろいろな『たつ』をお教わってくださいました。「これも『たつ』これも『辰』これも『タツ』これも……」。象形文字や辰の絵のような文字など、様々な『たつ』をお手本としてボードに貼ってもらい、子どもたちは、書きたい『たつ』に挑戦!種類の違う『たつ』を何枚か書きました。一筆一筆お手本を見ながら書いていくすみれ組。集中力を感じることができました。



最後に先生がお用意くださった大きな!特別な!きれいな!赤い紙に順番に『おめでとう たつどし』と書きました。



どのクラスも“道具を大切に使う”ということをも、教えてもらい、希少な道具に触れたり、道具を使って墨を擦ったり書いたりすることを楽しみ、書道の楽しさを味わうことができました。「もっと書きたい」「あの辰も書きたい」と子どもたちの思いが膨らみました。

書いて楽しい、もっと書きたい、そんな気持ちを味わうことができた、素敵な書道体験の時間でした。

子どもたちの書いた一人一人の作品は、先生たちが台紙に貼り、年明けの3学期の始業式の日にお部屋に飾る予定です。

また、1月始業式の朝には、「あけましておめでとう」の挨拶と共に、年長児の書いた『おめでとう たつどし』の文字を玄関に飾り、子どもたちを迎えたいと思います。

みんなで大根パーティー♪

2学期幼稚園最後の日の朝、年長すみれ組が育てた大根を収穫しました。



「大根の葉っぱいちごちゃん食べるかな？」いちごちゃんは、喜んで食べてくれました。

みんなそろって大根パーティーの始まりです。



朝取り、作りたてのホカホカ大根はとてもおいしく、おかわりの大行列ができました。何回もおかわりして、汁まで飲んで、お皿までペロペロしている子も！家では、食べない子もみんなと一緒にたくさん食べていました。



ジャスチャーゲームの答え：ペンギンの餌やり 寝ている子のところへサンタさんがプレゼントを持ってきたところ